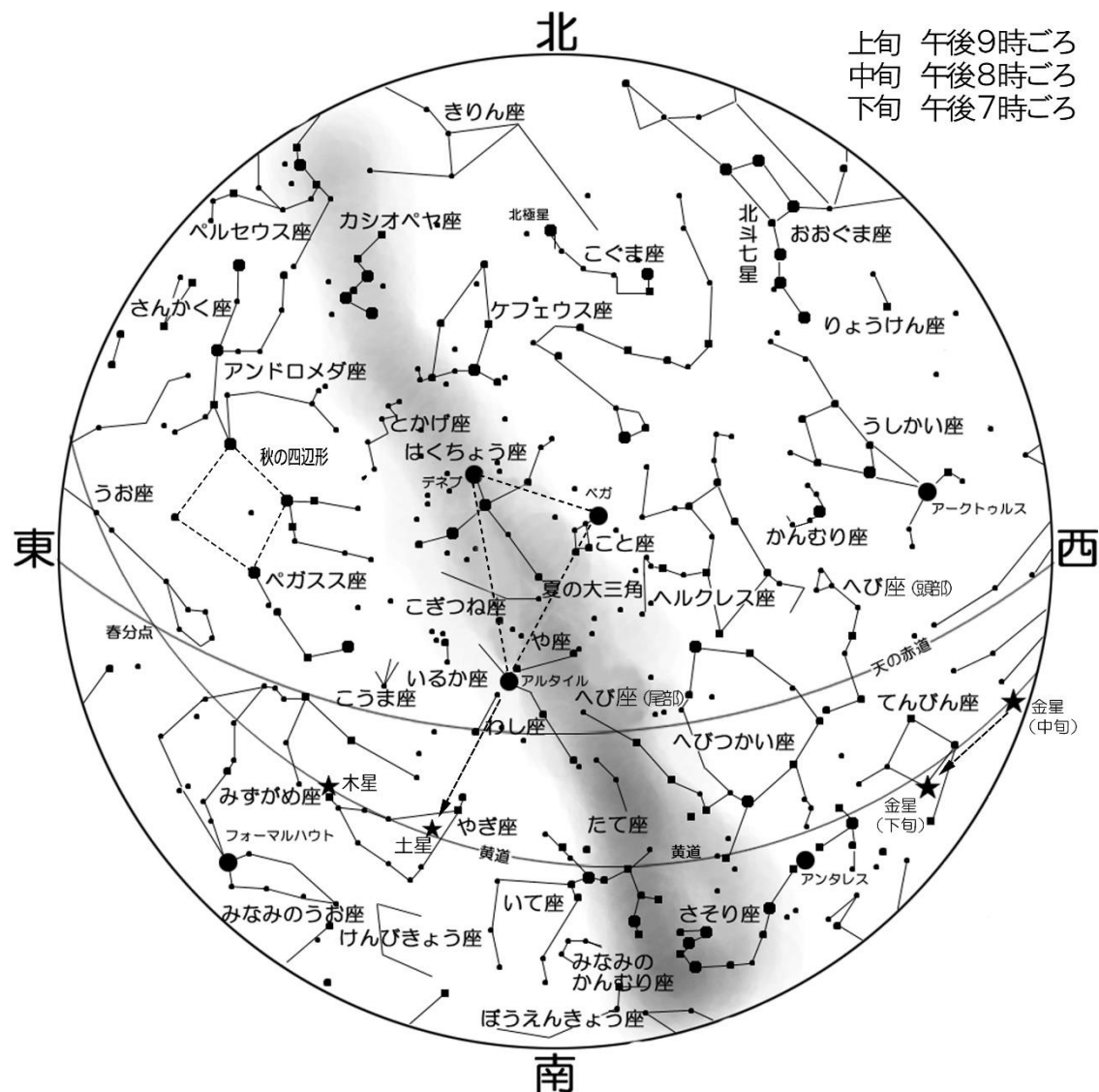


# 令和3年 9月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



9月になると夜は涼しく過ごせる日が増えてきます。しかし、上図の時間帯、西から南の空にはまだまだ夏の星座たちが見えています。夏の星座探しは、頭の真上あたりでひととき明るく輝く星から始めましょう。この星は、こと座の1等星ベガ（織り姫星）です。ベガから南東（左下）に目線を移した時に見つかる星は、わし座の1等星アルタイル（彦星）で、ベガの東（左）側で同じくらいの高さで輝く星が、はくちょう座の1等星デネブです。この3つの星を結んでできる大きな三角形は『夏の三角形』と言います。そして、南から東の空には秋の星座が見え始めています。ベガとアルタイルを結んだ線をそのままのぼしていくと、やぎ座を見つけることができます。やぎ座は逆三角形の星の並びをした比較的大きな星座ですが、暗い星が多く、探しづらい星座です。今月はこのやぎ座のあたりで0.4等の土星と-2.8等の木星が輝いているので、2つの惑星をたよりに探してみるという良いでしょう。さらに、東の空には腕を伸ばした時のにぎりこぶしより一回り大きい四角形の星の並び『秋の四辺形』が見つかります。『秋の四辺形』は、秋を代表する星座ペガサス座の一部なので『ペガサスの四辺形』とも呼ばれています。

夏と秋の星座を巡りながら、季節の移り変わりを感じてみてはいかがでしょうか。

## <見ごろの惑星> (☆マークは、今月のおすすめです。)

- 水星(0.5等前後): おとめ座付近 観測に適さない。
- ☆金星(-4.0等前後): おとめ座→てんびん座付近 日の入り後、西南西の低空でひととき明るく輝く。
- 火星(1.7等前後): しし→おとめ座付近 観測に適さない。
- ☆木星(-2.8等前後): やぎ座付近 21時ごろ、南南東の空で明るく輝く。
- ☆土星(0.4等前後): やぎ座付近 21時ごろ、南の空で輝く。

## 注目の天文現象 ～中秋の名月！月の色にも注目してみよう～

21日は中秋の名月です。お団子を食べながらのお月見もいいですが、月の色に注目して1時間おきに観望するのもお勧めです。

この日、月が地平線から出てくるのは18時44分です。月が地平線近くにある時には赤っぽい色に見えることがあります。これは大気の影響によるもので、朝日や夕日が赤く見えるのと同じ現象です。私たちが目にする光の中には、青い光や赤い光など、いろいろな色の光が混ざっており、全体としては白っぽい光となっています。そして、青い光は赤い光に比べて、大気によって散乱されやすいという性質があります。地球を取り巻く大気の厚さはほぼ一定ですが、観測者から見ると、光が通過してくる大気の層は頭の真上が一番薄く、水平方向は厚くなります。地平線近くに月があるとき、月からの光は大気を通過する距離が長いので、青い光は散乱され、赤い光が私たちの目に届くこととなります。そのため、赤っぽい月が見られるのです。そして、月の光は高度を上げるにつれ大気の影響を受けにくくなり、白っぽい色の月が見られるのです。

色の変化にも注目して、中秋の名月をじっくりと眺めてみてはいかがでしょうか。

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
7	火	● 新月 (22:50)	21	火	中秋の名月 ○ 満月 (08:55)
10	金	月が金星に接近			
14	火	☾ 上弦 (05:39)	23	木	秋分 (04:21)
		水星が東方最大離角 (13:25)	29	水	☾ 下弦 (10:57)